

平成 19 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 OUGホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 溝 上 源 二
(コード番号 8041 大証 第一部)
問 合 せ 先 常務執行役員
総合企画グループ担当 増 田 安 利
電 話 番 号 06-4804-3032

グループ中期経営計画策定のお知らせ

OUGホールディングス株式会社（以下、「当社」という）は、グループ経営基盤の構築と新たな事業展開へ向けて、2007年度から2009年度を実行期間とする「第1期OUG中期経営計画」（以下、「OUG中計」という）を策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. OUG中計の策定について

当社グループが中心的に営む水産物卸売業は、消費者ニーズの多様化、安全・安心への要求の高まり、水産物資源の減少、流通の巨大化・上位集中化などにより、環境変化への対応が求められております。

このような水産物流通における急激な環境変化の流れに迅速に対応するために、当社グループは、新しい水産物流通サービス業（生産者から消費者までの水産物流通のトータルシステム）を創造し、お客様に安全・安心と満足を提供することにより社会に貢献することを通じて企業価値の最大化を図ることをグループ戦略の基本方針としております。

上記基本方針を実現するために、当社グループは2006年10月に持株会社体制に移行し、グループ経営の強化によるグループ全体の総合力の発揮、および事業の選択と集中による競争力強化を目指すべくOUG中計を策定いたしました。

2. グループ経営理念と経営ビジョン

(1) 経営理念

水産物をコアとし、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより、食文化の発展に貢献します。

(2) 経営ビジョン

①将来像

新しい水産物流通サービス業を創造することによって企業価値を最大化します。

ここで、水産物流通サービス業とは、水産物をコアとして、品揃えや販促などの「商的流通機能」、保管や物流などの「物的流通機能」、「情報流通機能」を総合的に遂行し顧客のニーズを満たして利益を得る事業です。

②業界での位置づけ

お客様に安全・安心と満足を提供し、業界 No.1 グループを目指します。

③組織のあり方

社員の成長を支え、成果に報いる仕組みを作り、OUG全体の相乗効果を追求する組織を目指します。

④社員のあり方

各人が自律的に考働（こうどう）し、常に新しい価値を提案します。
（「考働」には、当社グループの思いが込められています。）

3. グループ経営目標

OUG中計の最終年度である2009年度の経営目標は、以下のとおりです。

- ・ 連結売上高 : 440,000百万円
- ・ 連結経常利益 : 5,500百万円（連結経常利益率1.25%）
- ・ 連結ROA（総資本営業利益率）: 5.0%

（単位：百万円）

	2005年度・実績値	2009年度・計画値
売上高	375,022	440,000
経常利益	1,619	5,500
経常利益率（%）	0.43	1.25
ROA（%）	1.7	5.0

4. グループ基本戦略

4つのグループ基本戦略と、各戦略の連携によって企業価値を高めていきます。

（1）近畿荷受ネットワークの構築

当社グループの荷受事業会社が保有する事業ノウハウや経営資源を共有し、近畿圏における荷受事業のネットワークを構築することによって当該事業の競争力強化を図ります。具体的には、水産物の販売力強化、水産物の集荷力強化および業務効率化を実現します。

（2）地域を基軸とした市場外事業の再編・強化

当社グループの成長エンジンとなりうる市場外事業の競争力強化を目的として、地域を基軸とした顧客起点経営への転換を図ります。

（3）戦略創造型グループ経営の追求

グループ総合力を発揮するために、当社がグループ会社の戦略にまで関与し、グループへの貢献度により評価する戦略創造型グループ経営を追求します。具体的には、事業間の相乗効果を実現する戦略的意思決定、最適な経営資源配分、適時適切な評価・検証を行うことによりグループを統制します。

(4) グループ経営基盤の構築

戦略創造型グループ経営および事業戦略を円滑かつ実効的に機能させ、グループ全体最適の実現に必要な制度および仕組みを構築します。

5. 事業戦略

(1) 荷受事業戦略（重点施策）

- ・産地の掘り起こしによる集荷力の強化
- ・市場間の連携強化による集荷力、販売力の強化
- ・業務の統合・標準化によるコスト削減

(2) 市場外事業戦略（重点施策）

- ・地域特性にあわせた営業展開
- ・顧客起点の営業展開を推進
- ・最終消費者への販売を積極的に展開
- ・「戦略商品」「ブランド商品」の育成
- ・鮮魚、塩干の流通を強化、拡大

(3) その他の事業戦略（重点施策）

- ・鮮魚加工を積極的に展開
- ・グループ物流機能の強化
- ・養殖は、コスト削減と安全、安心を追求
- ・養殖魚の輸出強化

6. グループ組織・ガバナンス方針

(1) グループ組織体制の再編方針

グループの基本戦略および事業戦略を実現するために最適な組織体制に再編します。

①荷受事業の統合

近畿荷受ネットワークを構築し、荷受事業の競争力を強化するため、荷受事業を統合します。具体的には、当社グループの荷受事業会社である大阪魚市場株式会社、和歌山魚類株式会社および滋賀県魚市場株式会社の3社を2007年10月を目処に経営統合を目指します。

②地域を基軸とした市場外事業の再編

当社グループの成長エンジンとしての市場外事業のさらなる競争力の強化を図るため、現状の強みである商品軸に加えて顧客起点を重視し、地域を基軸に市場外事業を再編します。具体的には、当社グループの市場外事業会社である大栄太源株式会社、株式会社スイチョコおよび、やまは食品株式会社の3社を2008年4月を目処に経営統合を目指します。

(2) グループ・ガバナンスの方針

当社グループは、コーポレート・ガバナンスの方針を以下のとおり定め、これを実現してまいります。

- ・ OUGの基本的使命は、水産物流通サービス業を実現することにより、“企業価値を最大化”していくことであり、この基本的使命を追求し続けなければならないと考えています。
- ・ 株主そして消費者、顧客を含む取引先、社員、債権者、地域住民と地域社会等全てのステークホルダーと良好な関係を維持することが重要であると考えています。
- ・ 競争力を一層強化していくためには、経営の透明性、公正性を重視した、迅速かつ“最適な経営判断”と“確実な業務執行”が必要不可欠であると考えています。
- ・ これらの達成状況を確認することによって、コーポレート・ガバナンスの充実を図っていきたいと考えています。

7. グループ経営基盤の構築方針

(1) 人事戦略（重点施策）

- ・ グループ人財機能整備方針の策定
- ・ 人財育成および最適人財配置

グループ会社共同で、採用・人財育成・人財交流に取り組み、グループ全体の人財の流動性を高めることで、質の高い人財の確保・育成、グループ内での最適人財配置、組織の活性化を実現します。

社員の納得度を高め、やる気を出す仕組みを構築するために、社員の成果に報いる透明性の高い評価、報酬体系への移行を行います。

(2) 財務戦略（重点施策）

- ・ 資金調達、管理の効率化
- ・ 最適な資金運用

(3) 情報システム戦略（重点施策）

- ・ グループ全体での情報共有および意思決定の仕組みづくり
- ・ グループとしてのIT基盤整備

(4) グループ経営管理方針（重点施策）

- ・ グループ管理制度の構築
- ・ 内部統制機能の整備

以 上